

DI (Diffusion Index = 景気動向指数)とは

各調査項目について、好転企業割合から、悪化企業割合を差し引いた値を示し、景気の現状把握や将来の見通し予測を行う。

・DIがプラスなら…好転、上昇基調 ・DIがマイナスなら…悪化、下降基調

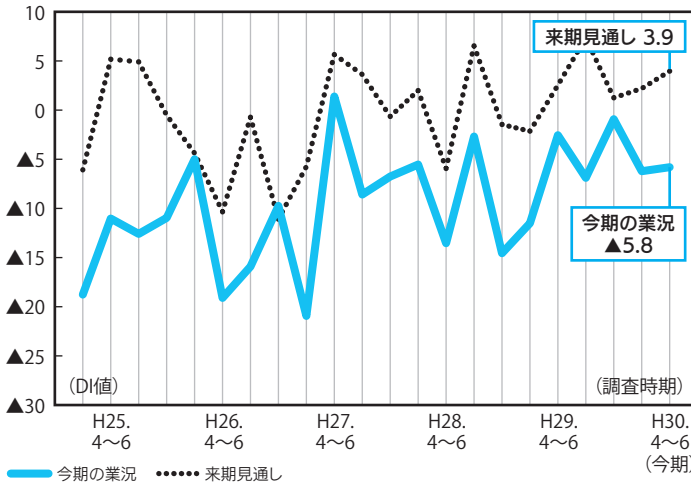
記号の見方

DI 値	-25P 以下	-25~-10P 未満	-10~10P 未満	10~25P 未満	25P 以上
景況	特に悪化 ↓	悪化 ↘	横ばい →	好転 ↗	特に好転 ↑

# 鹿児島商工会議所 景況調査

調査期間……平成30年4月～6月  
対象企業数…154社

■業況 DI の推移



## 今期業況は変化が少なく、来期見通しは回復への期待あり

【今期(平成30年4～6月期)の景況】

業況の全産業平均DIは▲5.8で前期から0.5ポイント増と、前期とほとんど変わらなかった。産業別に見ると、卸売業が大幅に低下したが、小売業と建設業は大きく上昇した。

【来期(7～9月期)の見通し】

来期見通しの全産業平均DIは3.9で前期から1.8ポイント増となり、緩やかではあるが回復への期待がうかがえる。

■産業別 DI 値表

業況	前期 [H30.1~3] (A)	今期 [H30.4~6] (B)	増減 (B) - (A)	来期見通し [H30.7~10]	
				DI	変化
全産業平均	▲ 6.3	▲ 5.8	0.5	3.9	→
製造業	0.0	0.0	0.0	▲ 6.5	→
建設業	▲ 3.7	9.4	13.1	6.3	→
卸売業	▲ 4.5	▲ 29.2	▲ 24.7	▲ 20.8	↘
小売業	▲ 10.7	6.7	17.4	20.0	↗
サービス業	▲ 11.4	▲ 18.9	▲ 7.5	13.5	↗
売上額					
全産業平均	3.4	▲ 2.6	▲ 6.0	10.4	↗
製造業	3.1	9.7	6.6	▲ 3.2	→
建設業	▲ 3.8	12.5	16.3	6.3	→
卸売業	9.1	▲ 37.5	▲ 46.6	4.2	→
小売業	21.4	20.0	▲ 1.4	33.3	↗
サービス業	▲ 7.9	▲ 21.6	▲ 13.7	10.8	↗
資金繰り					
全産業平均	▲ 11.0	▲ 10.5	0.5	▲ 1.3	→
製造業	▲ 9.4	▲ 12.9	▲ 3.5	▲ 9.7	→
建設業	▲ 3.8	3.1	6.9	9.4	→
卸売業	▲ 4.5	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 13.0	↘
小売業	▲ 20.7	▲ 13.3	7.4	3.3	→
サービス業	▲ 13.5	▲ 16.2	▲ 2.7	0.0	→
採算					
全産業平均	▲ 9.0	▲ 8.4	0.6	▲ 1.9	→
製造業	▲ 3.1	▲ 3.2	▲ 0.1	▲ 3.2	→
建設業	▲ 7.4	15.6	23.0	6.3	→
卸売業	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	↘
小売業	▲ 14.3	▲ 6.7	7.6	3.3	→
サービス業	▲ 22.2	▲ 18.9	3.3	▲ 2.7	→

【今期の売上額・資金繰り・採算】

売上額の全産業平均DIは▲2.6で、前期から6.0ポイント低下した。産業別では、特に卸売業が前期から46.6ポイント減と著しく低下した。

資金繰りの全産業平均DIは▲10.5で前期から0.5ポイント増と、前期とほぼ変わらなかった。

採算の全産業平均DIは▲8.4で前期から0.6ポイント増と、ほぼ変わらなかった。産業別では、建設業は大きく上

昇したが、卸売業が大きく低下した。

【回答企業のコメント】

・引き合いは多いが、従業員の確保が難しく、外注費がかさみ利益を圧迫している(建設)。

・円安傾向、輸送費上昇による仕入単価の上昇が続き、経営が安定しない(卸売)。

・営業時間を短縮したが、売上を取り込むことができている。SNSなどを駆使して新たな販路確保が急務(小売)。